

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 9 月 19 日(2024.9.19)

【公開番号】特開 2024-61833(P2024-61833A)
【公開日】令和 6 年 5 月 8 日(2024.5.8)
【年通号数】公開公報(特許)2024-083
【出願番号】特願 2024-39619(P2024-39619)
【国際特許分類】

F 1 6 L 23/08(2006.01)

10

【F I】

F 1 6 L 23/08

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 9 月 10 日(2024.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管端部の環状のフランジ部を互いに突き合わせた 2 本の管と、
前記両フランジ部を外周側から覆う第 1、第 2 の分割体と、を備え、
前記第 2 の分割体には、径方向に突出する係合突起が設けられ、
前記第 1 の分割体には、前記係合突起が係合する係合穴が形成されている、
配管構造。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の配管構造であって、
前記各フランジ部が突き合わせ面の反対側にテーパ面を有し、
前記第 1、第 2 の分割体には、前記両フランジ部のテーパ面が当接するテーパ面が形成
されている、配管構造。

30

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の配管構造であって、
前記係合穴が、前記係合突起を収容する主穴部と、この主穴部に連なる逃がし凹部とを
含む、配管構造。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の配管構造であって、
前記係合穴における前記第 2 の分割体とは反対側には傾斜面が形成されている、配管構
造。

40

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載の配管構造であって、
前記第 1、第 2 の分割体が、前記管と直交方向に延びるボルトにより締結されている、
配管構造。